



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



ダイヤモンドヘッド

ダイヤモンドヘッドはハワイ、オアフ島にある火山。19 世紀にイギリスの水夫たちがこの山を登った時、火口付近の方解石の結晶をダイヤモンドと間違え、「ダイヤモンドヘッド」と名づけたといわれる。ダイヤモンドヘッドはオアフ島の沿岸防衛に理想的な場所であり、軍事要塞化されているが、現在に至るまで一度も使われてはいない。



・写真は上空から見たダイヤモンドヘッド
(標高 232m) Wikipedia より

教皇と法王

学校では「ローマ法王」と習っていたのに、昨年フランシスコ教皇の来日を機になぜ「教皇」になったのだろう。実は、「法王」と「教皇」はどちらもラテン語の Papa (英語表記は Pope) の日本語訳で、かつては日本カトリック教会内でも表記が割れていた。これが、1981



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

年に当時のヨハネ・パウロ2世の訪日を機に、日本カトリック教会内では「教皇」に統一された。「教」の字が、教皇の職務を表すのに適切だから、というのがその理由である。

しかし、ローマ教皇を元首とするバチカンも、かつては呼称が割れていた。駐日バチカン大使館は、「ローマ法王庁大使館」とされてきたのだ。これは、バチカンが日本との外交関係を樹立した当時の定訳に基づいて申請した名である。だが、教皇の来日を機に、日本政府によって「ローマ教皇庁」と改められることになった。

こうしたこともあって、以前メディアでは「法王」が使われていたのだが、昨年11月から「教皇」に変更するようになったわけである。

千手観音の実際の手の数は？

六観音の一つである「千手観音」には手が千本もあるわけではないのに、なぜ「千手観音」と呼ばれているのだろうか。

千手観音の実際の腕は左右21本で計42本のものが多い。ただ、胸の前で合掌している合掌手と腰のあたりで鉢を持つ宝鉢手(ほうはつしゅ)を1本とすると千手観音の手は40本ということになる。

この40本の手が、それぞれの25の世界を救うものであり、「 $25 \times 40 = 1000$ 」であると言われている。ここで言う「25の世界」とは、仏教でいう「三界二十五有(う)」のことで、天上界から地獄まで25の世界があるという考えだ。俗に言う「有頂天」とは、二十五の有の頂点にある天上界のことを指している。

・写真は京都・三十三間堂の千手観音(wikipediaより)



三省

論語の中に「曾子曰、吾日三省吾身、為人謀而不忠乎。与朋友而交不信乎、伝不習乎」という一文がある。分かりやすく言うと、曾子が言った。「わたしは毎日何度も自分の行動を反省する。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

他人の相談にのってやった際、真心をこめて接したかどうか。先生から習ったことで、十分納得していないことを受け売りで教えたりはしなかったか」となる。

この場合の「三」は何度もの意で、「三省」とは何度も自分の行為を反省するということになる。出版社三省堂の社名の由来でもある。

おならで号外

昭和5年11月14日その風貌からライオン宰相といわれた浜口雄幸首相は東京駅で右翼の青年にピストルで狙撃され瀕死の重症を負う。銃弾はヘソ下から入り、小腸に達していたものの、手術は成功し一命をとりとめた。ところが、主治医の顔色がさえない。腸がつながったことを示す「オナラ」が出ないのだ。「腹膜炎併発の兆候、首相の容体悪化す、生命を左右するガスの排出」など、新聞各紙トップに「屁」「オナラ」の見出しが踊った。3日目に入ってようやく浜口は「ブー」「ブー」と号砲を放った。

新聞社は即座に号外を発行、「放屁一発天下に轟く」と記されていたという。おならで号外が出たのは、後にも先にもこの一件だけである。

浜口首相は退院後、議会に出席するも容体は思わしくなく、翌年4月に首相を辞任する。治療に専念するもその甲斐なく昭和6年8月26日逝去。享年61。